

日本浄土思想の歴史

円仁・源信・法然・親鸞

しいほうけん
四夷法顕著

▼46判・並製カバー・182頁・定価 二、二〇〇円

2025年8月刊行



日本文化に多大な影響を与えた浄土思想。その歴史上、特に重要な四人の祖師を通して、日本浄土思想の展開と歴史を学ぶための入門書。

【目次】

第一講 浄土思想と阿弥陀仏について

浄土思想とは／阿弥陀仏信仰の起源について／「阿弥陀」の原語はサンスクリットではない？／無量寿経と「無量寿経」／「無量寿経」の法蔵説話／四十八願の建立と第十八願／「唯除」の文について／物語によって救われる

第二講 円仁と比叡山における浄土思想の起り

比叡山とは／四種三昧／円仁の生涯と功績／①天台密教の組織化／②横川の開発／③「山の念仏」の起源／五会念仏とは／五会念仏と本願寺声明／二種類の念仏

第三講 源信の『往生要集』と浄土思想の隆盛

源信について／『往生要集』とその時代／二十五三昧会と『往生要集』／『往生要集』における「念仏」／『往生要集』における止観念仏の位置づけ／源信の自己認識／『往生要集』序文が意味すること

第四講 法然による仏教の転換と思想構造

法然という人物／生い立ちと出家／宗教的回心／法然と『往生要集』／選択思想の確立／勝易の二徳／「必」の仏道／信疑決判——善悪対から信疑対へ／仏道としての念仏／厳しい批判

第五講 親鸞が「浄土真宗」という宗名に込めた意味

生い立ちと出家／比叡山時代の「堂僧」について／六

角堂参籠／法然との出会い／承元の法難／「浄土真宗」という宗名について／「浄土真宗」という教えの内容／一願建立と五願開示／法然と親鸞の問題意識

第六講 『歎異抄』第三条の悪人正機について

——法然と親鸞とつなぐ法語

『歎異抄』について／悪人正機の伝統／様々な善悪／仏教における善悪／「悪人」とは／「悪人が救われる」ということ／念仏者の倫理観

主な参考文献
あとがき

◆著者略歴

四夷法顕（しいほうけん）

一九八五年、兵庫県生まれ。龍谷大学大学院博士後期課程修了、浄土真宗本願寺派宗学院本科修了。博士（文学）。現在、相愛大学非常勤講師、宗学院研究員、兵庫県西宮市信行寺住職、NHK文化センター講師、毎日文化センター講師、広島仏教学院オンライン講師など。著書『親鸞と浄土仏教の基礎的研究』（共著、永田文昌堂、二〇一七年）、「智慧のともしび——顕証寺本蓮如上人絵ものがたり」（共著、法蔵館、二〇二〇年）、「立教開宗と浄土真宗」（単著、自照社、二〇二四年）。主要論文：「天台教学を基礎とする親鸞浄土教の研究」（二〇一七年）、「初期叡山浄土教の悪人往生説と親鸞聖人の立場」（二〇二二年）、「『本典』『教文類』における阿難観の一試論」（二〇二三年）、「『往生要集』における三心釈受容の意義」（二〇二四年）ほか。

注文書

（書店印）

ご担当

様冊

法蔵館

定価 二、二〇〇円

ご住所

四夷法顕著
日本浄土思想の歴史

円仁・源信・法然・親鸞

ISBN: 978-4-8318-5590-9 C0015

お電話
お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

浄土教・仏教